平成２３年１１月７日

各　　位

会社名　　アグロ カネショウ株式会社
代表者　　代表取締役社長　櫛引　博敬
（コード番号 4955 東証第２部）
問合せ先　　取締役経営企画本部長　角田　俊博
（TEL　03－5570－4711）

生産体制の再構築について

当社グループは、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災に起因した東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業を中止しておりました福島工場の一部機能を下記に移転し、生産体制を再構築する事を決定いたしましたので、お知らせいたします。

１．生産体制の再構築について

(1) 生産体制の再構築を行う理由

これまで当社では、福島県双葉郡大熊町の福島工場を主力工場とし、直江津工場及び外部への委託生産を併用して生産を行ってまいりました。しかしながら、先般の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故のため、当該発電所から約３キロメートル圏内に立地しております福島工場は、現在も立ち入り禁止となっております。今期はこれまで、福島工場で生産していた製品については外部への委託生産で対応してまいりましたが、主力製品の一部で機動的な生産が行えないなどの弊害が発生しておりました。そのため福島工場に代わる新工場の建設を計画することといたしました。

(2) 生産体制再構築の内容

今般譲り受ける（本日別に開示しております「研究体制の再構築について」をご参照ください）世界有数の農薬メーカーであるバイエル社の日本法人バイエル クロップサイエンス株式会社 結城中央研究所の敷地に、当社グループの主力製品の

一部を機動的に生産する新工場を建設することといたしました。工場の詳細については現在検討中ですが、完成は平成２４年末頃を予定しております。
なお今回の生産体制の再構築では、自社生産、委託生産の最適化による収益性の改善、一極集中によるリスクの低減の２つを目指しております。
この新工場建設についての具体的な内容は現在検討中であり、詳細が決まり次第あらためて発表いたします。なお、本件に関しては東京電力株式会社第一原子力発電所事故に起因する損害と認識しており、現在損害賠償の請求について検討しております。

２．今後の見通し

生産体制の再構築にあたり福島工場の一部資産の遊休化、代替資産の取得、あるいは移転のための費用などが発生いたします。遊休化する資産につきましては、第３四半期決算において減損損失を計上する予定です。
また今期業績の影響額につきましては、本日付開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」に詳細を記しております。

以上

＜当社が取得する結城事業所（仮）の概要＞

＊ 取得予定日：平成 24 年 1 月初旬
＊ 所在地：〒307-0001　茨城県結城市結城 9511-4
＊ 敷地面積：
2 万 9 千平方メートル（敷地）
1 万 9 千平方メートル（試験圃場）